

平成21年度協働事業審査会 会議録

日 時：平成21年10月14日（水）

午後2時00分～4時30分

場 所：市民活動センター

出席者：田邊金道委員・三枝幹男委員・市原実委員・渡邊正志委員
・清水実委員・中込秀樹委員・

事務局；海福参事、櫻田所長・有野課長、樋川リーダー、高野コーディネーター・檜山コーディネーター、小林、折居、久保田

1 開 会 ；有野課長（進行も兼ねる）

2 あいさつ

市原会長：審査会は初めてのことである。

全部を市で採用し、皆さんの活動がより活発化してほしいというのが本音であるが、手続きということなので、今日は意見交換会という感じで気楽にお願いしたい。

具体的な手続きについては市のほうから説明がある。

3 審査手順の説明

樋川リーダー：審査の対象となる案件は4件。公募事業が1件、提案事業が3件。

プレゼンテーションを1事業あたり25～30分をお願いしたい。

本日の審査については、審査基準に基づき審査判定シートに評価点数をつけてもらう。

審査の時点で完成する時間を設けるので、プレゼンテーションの時点では、仮ということをお願いしたい。

審査基準は5項目について採点していただき、おおむね35点以上のものについては協働事業候補として選定させていただき、推進会議、推進本部との判断を得た中で協働事業として実施していくことになる。

4 公開プレゼンテーション

公募事業

大和川水辺と桜並木の風景づくり事業

公募事業説明：みどり自然課（資料のとおり）

応募者説明：曲輪田区（資料のとおり）

質疑応答

市原委員：236,000円の内訳を知りたい。

杉山補佐：資料に記載してある。

今年度はしだれ桜の剪定は専門の方をお願いするので、予算をつけるが、だんだん教えてもらいながら自分たちでできるようになればそのお金は要らなくなると思われる。

素人でもできるものは予算はつけてないが、専門家をお願いしないといけないもののみ賃金を盛り込んである。

三枝委員：植えてからどのくらい刈り込んであるのか。

杉山補佐：今年枯れた木が目立っているが、今までは枯れた木がなかったので、植え替えはしていない。

曲輪田区長：ところどころに枯れたものは今までにもあった。

杉山補佐：5m間隔で植えてあるのでせまい。

造園業者の計らいで根元を切っているものもある。

三枝委員：その部分はどうするのか。

杉山補佐：原材料費で購入するか、緑の募金や桜を育てる会からの苗木の配布を受けるなどしてまかなっていききたい。

清水委員：合併記念の木で、地元が引き継ぐことになっていたと思うがその協議はなかったのか。

曲輪田区長：その当時の区長に確認したが、はっきりとした協議はなかったようだ。

清水委員：市で事業をしたからには管理をしないといけない。

曲輪田区で管理をしてもらえるなら、ありがたい。

その場合のみどり自然課との関係は。

杉山補佐：専門家の派遣、樹木の診断等をみどり自然課で行う。

清水委員：地元の造園会社が今までは好意でやっていたようだが、今後はどうなのか。

曲輪田区長：ほかの地区で育てる会があるが、育てる会ができた

ほうが長期的に管理ができやすいのではとも考えている。その中にはいってもらおうとか考えたい。

清水委員：合併記念事業だったので、具体的なもの、日程等決まったら議会にも知らせてほしい。

提案事業

源花壇咲く咲くプロジェクト

提案者事業説明：商工会源地区咲かそう会（資料のとおり）

市役所担当課説明：みどり自然課（資料のとおり）

質疑応答

清水委員：駐車できるところがあるのか。

近くに広いところがあるが、そこに止められるか。

商工会：その土地は個人のもの。

右へ入った側道が広いので、そこに停めて見てもらえればいいのか。

三枝委員：スギナは生えなくなったのか。

商工会：米ぬかやチップのせいかはわからない。

会員が交代で草取りをしているので、あまり生えない。

杉山補佐：スギナについてはひどかったので、15cmほどすきとって土を入れ替えた。

廃食油回収事業・・・みんなで進める地球温暖化対策

提案者事業説明：NPO 法人 協働で素敵にまちづくり南アルプス共和国（資料のとおり）

市役所担当課説明：地球温暖化対策室（資料のとおり）

質疑応答

中込委員：地球温暖化防止推進員がいると思うが、その方たちとの協力は。

樋泉：人的体制が取れることが必要。

地域推進員と協働し、周知、活動できればと考えているが、今のところはその段階ではない。

NPO：事業を拡大していく上では、事業の応援団を各地区に募集し、お手伝いをお願いしたい。そこから、意識改革をしていきたい。

清水委員：対象者は一般家庭のみか。

企業や給食センターは対象でないのか。

高野リーダー：事業者等から出される油は産廃扱いになってしまう。

清水委員：少子高齢化の時代だが、弱者のことはどのように考えているか。

高野リーダー：社協やボランティアに協力していただき、出してもらいたいと考えている。

清水委員：BDF 油は 1 いくらか。

NPO：9 2 円くらいだが、配達をお願いするとプラス 5 円かかる。実勢価格的には 1 0 0 円程度。

中込委員：BDF は売り、また買うとも言っていたが、売ったものと買ったものの関係は。

樋泉：現在、5 4 0 使っている。精製するには 6 0 0 の廃食油が必要。

この事業が進んでいけば、買い取ってくれるということ。

公用車の台数も増やせば、自分たちでその油も使えるようになる。

南アルプス市食のセーフティネット創造事業

提案者事業説明：NPO フードバンク山梨（資料のとおり）

市役所担当課説明：福祉課長

生活保護者にはお金が出ているので、それ以上に物を配るのはよくないのではということもある。

民生委員にも協力いただけるかこれから話すことになる。

社協との連携についてもこれから考えてく。プライバシーの保護が一番大切になる。

質疑応答

清水委員：生活困窮者を探す方法が大変ではないのか。

民生委員や社協の協力が得られるのか。

齋藤課長：まだ、協議会に諮っていない。

理解してもらえらると思うが。

清水委員：見本を見てもったいないと思う。

コンビニの弁当なども対象になるのか。

NPO：賞味期限内のものに限っている。

横浜市では、協力してやっているようだが、ここではまだその力はない。

清水委員：南アルプス市は果物や野菜がたくさんある。農家が提供したいという場合の収集方法は。

NPO：20～50代の方がボランティアでやっているの、取りにいった配っている。

ボランティアに支えられているが、持ちにいけるとは思うが、まだ未熟で今の時点では確約はできない。

田邊委員：備蓄はどのくらいあるのか。災害時に利用できるか。

NPO：そうできればよいとは思っている。

日本では根付いていない。県内でも(企業は)1社、2社しか協力いただけない。今後、認められていけば、災害時のことも考えたい。

市原委員：消耗品として受給者証があるが。

NPO：受給者証を持っている方に食品提供をしていく。

A4の厚紙を四つ切にし、ビニールに入れたものを考えている。

市原委員：受給者証はなぜ必要なのか。

NPO：配布ボランティアが届けたときに、受給者証の裏に何日に配布したということがわかるように。

市で認定してもらわないと、どの人でももらいにこれるようではよくない。

市原委員：不在の場合はどうするのか。

NPO：事前に連絡をしてからいくようにしたい。

市原委員：大変な作業になる。

NPO：民生委員や消防の方で問題意識のある人ならば、ボランティアをしていただけのではないかと思う。

齋藤課長：受給者証があれば、取りに行くときに区別になる。食品をボランティアが配ることが、プライバシーの問題がある。ボランティアにも生活困窮者ということが知られてしまう。

有野課長：11月中～下旬に推進本部で最終決定することになる。

まだまだ協議を進めていかないといけないところもある。

平成22年度の事業になるが、査定が12月くらいにあり、3月の

議会の議決を経て、正式決定になる。

事業を進めていくにあたっては、市と事業提案者の間で協定書を結んでもらうことになるので、お願いしたい。

～提案者退室～

5 選考審査

市原委員：4事業ともおおむね35点以上なので、候補として決定してよろしいか。

～了解～

市原委員：フードバンクについて、ビデオに出てくるように施設に配るのだと思っていた。

三枝委員：一人暮らしの高齢者等に社協でおやつを配っているが、それと同じなのではないか。

清水委員：どれも評価点がよい。

事業が採択された場合、源の花壇などでは道路沿いで作業をするようだが、交通事故等があった場合はどうなるのか。保険をかけるのか。

有野課長：今後の協議の中で保険についても話をするようにしたほうがよい。

自分たちで入るのか、市で見るのかということになる。おそらく市でということにはなると思うが。

高野コーディネーター：協定書の中に、事故があったときの責任の所在をはっきり示したほうがよい。

有野課長：4つ目の事業（フードバンク）についても、民生委員とも詰めていないのが現状。

清水委員：民生委員も170名くらいいる。福祉課は前向きに考えているようだが。

市原委員：今回のものはモデルケースになる。

大和の桜の除草、剪定など成功すればほかの地域からも自分たちもやってみようという気になると思う。

今回7, 8件あればと思っていたので、少し少ない気もするが来年度の事業がうまくいくよう協力していきたい。

6 今後の日程について

有野課長：今日の審査会の結果を受け、推進会議を11月末か12月初めに開催したい。

7 閉会 有野課長